

## 「第4期千葉県教育振興基本計画（原案）」に対し意見表明

### ～金融教育分野における各種協力について表明～

日本損害保険協会関東支部千葉損保会（会長：垣谷 直人・東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 千葉支店長）では、千葉県から2024年11月15日付で公表された「第4期千葉県教育振興基本計画（原案）」に関する意見募集に対し、12月13日付で意見表明を行いました。

千葉県では、現在、第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」を引き継ぐ新計画の策定を進めており、今般、現行計画の成果や課題を整理し、新しい千葉の未来を切り開く「教育立県ちば」を実現する有識者会議（令和5年8月設置）の意見や国の第4期教育振興基本計画等を踏まえ、第4期千葉県教育振興基本計画の原案を作成したものです。

千葉損保会では、消費者や事業者に損害保険やリスクマネジメントについての正しい理解を浸透させていきたいと考えており、特に益々重要となってきた高校での金融教育については、県民が社会で生きていくために必要な経済力を養い、豊かな人生を切り開いていくために必要不可欠なリテラシーであるとの見地から、基本理念等に賛同するとともに、以下とおり意見を提出しています。

#### ○該当ページ：P. 5～13

少子高齢化や経済・雇用の情勢変化に加え、急速に変化していく社会への対応が求められる現状において、これから生きていく子供たちに「人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る『人』」となってほしい、という基本理念について、賛同いたします。

特に、「基本目標2 未来を切り拓く『人』の育成」において、「子供たちが自ら未来を切り拓くために必要な知識や技能を確実に身に付け、不確実な状況にも対応できる思考力・判断力・表現力が養われ、学びに向かう意欲が育っている」こと、「社会的変化を前向きに受け止め、自ら社会における課題を見つけ出し、主体的にその解決策を考え、提案するなど、積極的に行動する姿勢が育まれている」こと、「デジタル機器・教材を日常的に活用するほか、専門的な知識や技術を有する外部人材と連携し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られている」ことが目指す姿の要素として掲げられていることについて、賛同いたします。

#### ○該当ページ：P. 22

（3）における「チーム学校」としての体制を整えるにあたっては、外部人材の積極的な活用として、外部専門家による講師派遣（出前授業）などを通じ、現場の実態に即した効果的・効率的な学校指導体制を構築していただきたいと考えております。

#### ○該当ページ：P. 23

「東日本大震災や房総半島台風などの経験を踏まえ、学校での安全教育や防災教育をさらに充実させる必要があります。」という課題について、若年時から防災教育を行うことは、子どもたちが災害を正しく理解し、自身で身を守るために大切なことだと考えており、加えて地域コミュニティの強化にも繋がることから、防災教育の充実を図ることについて、賛同いたします。

#### ○該当ページ：P. 29

未来を切り拓くことのできる人の育成にあたっては、変化する社会に柔軟に対応できるよう、外国語教育の充実やICTの活用など、記載いただいている学力向上のための取組みはもちろんのこと、個人の資産形成やリスク管理能力を培うことも必要な要素であると考えております。

また、平成 30 年告示の高校学習指導要領でも、高校生が民間保険を学ぶことが明記され、成人年齢も引き下げられ、高校生が契約の当事者となることから、高校での金融教育は、益々重要になっていると思料します。

金融リテラシーを獲得することは、社会で生きていくための必要な経済力を養い、個人が能力を発揮し、豊かな人生を主体的に切り拓いていくための一助となると考えておりますので、何らかの形で明示的に記載いただくのがよいと考えます。

**○該当ページ：P. 49**

当損保会としても、千葉県内における団体の一つとして、千葉県の子供の育成のための役割を果たしていきたいと考えており、積極的に連携・協力いたします。

特に、金融教育にあたっては、学校教育の中で、短時間で「社会保障と民間保険の違い」や、「身の回りのリスクに対する備え」をピンポイントに学ぶことができる、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）に沿った教材を無償で提供しています。また、講師を学校に派遣して、交通事故や自然災害など身の回りに潜むリスクについて、主体的・対話的で深い学びができるような、様々なプログラムがありますので、有効活用していただきたいと考えております。